

おおい 自然園

ニホンカナヘビ

No.118

草むらを歩いていると、ふと小さな頭が見えたり、風もないのに落葉をカサコソ言わせたりと、野外では出会う機会が多い生きものの一つです。

「ヘビ」という名が付いていながら四肢があるじゃないかと、ついツツコミを入れられそうですが、れっきとしたトカゲの仲間であることは、一目瞭然です。

しかし、トカゲとちがって尾が長く、全長の三分の二を占めます。そのため「ヘビ」の名がついたとも言われています。体表は、がさついた鱗で覆われています。とは言うものの、割とつかまえやすくおとなしいので、子どもたちには人気があります。ただ、変温動物ですから、ずっと手で持つことは避けたいものです。



▲草むらから顔を出す



▲垂直な面を登ることも